

ベースロード市場について

2024年12月24日

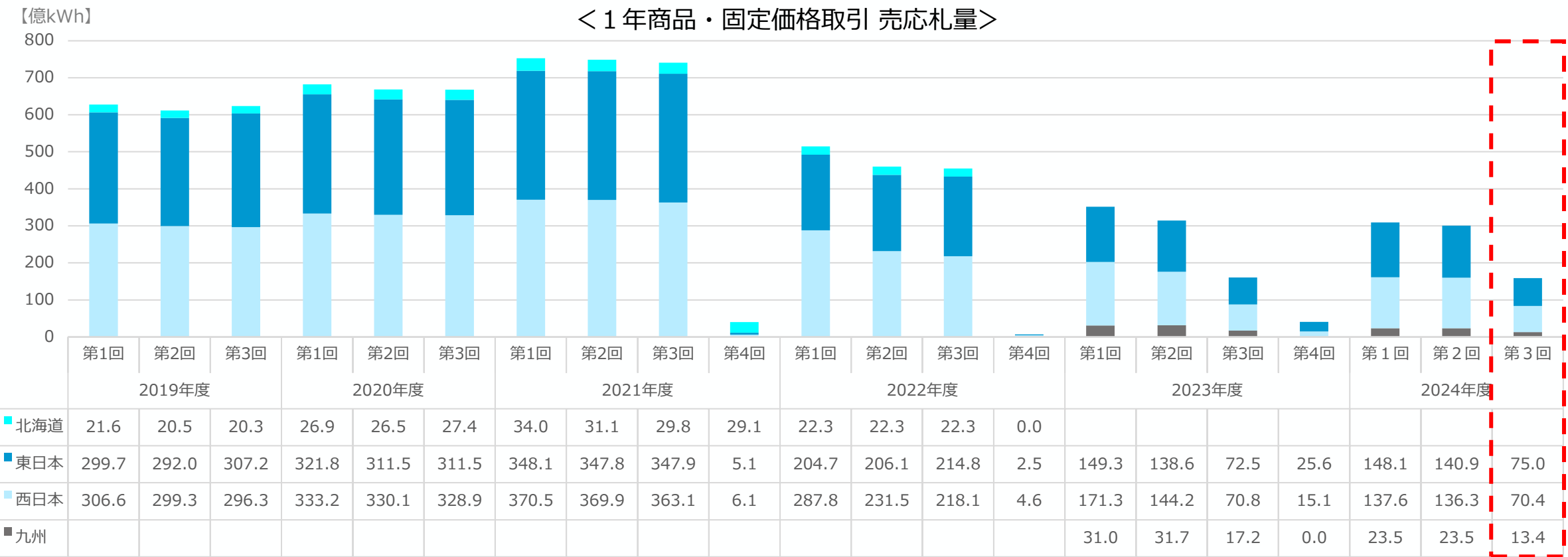
資源エネルギー庁

はじめに

- 第97回制度検討作業部会（2024年10月30日）では、第2回オークションの結果を御報告した。
- 今回は、2024年11月27日、29日に第3回オークションが行われたことから、その結果を御報告する。

2024年度第3回オークションの売応札量（1年商品・固定価格取引）

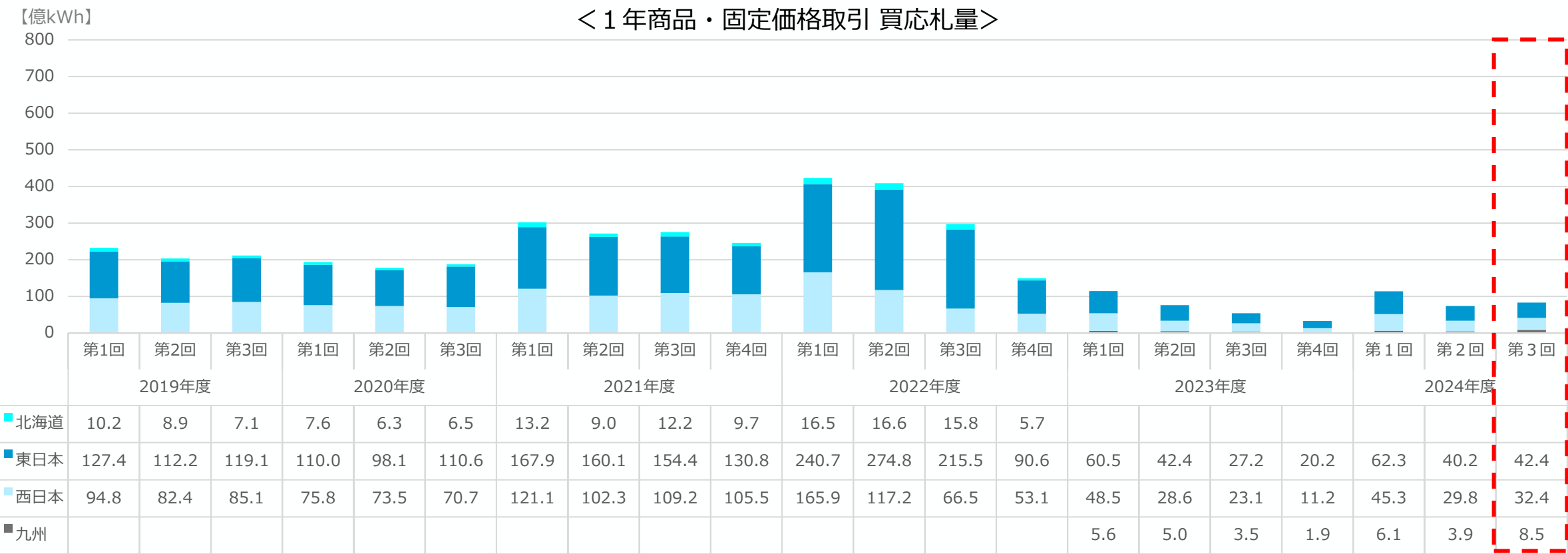
- 売応札量は約158.8億kWhとなり、**2023年度第3回オークションの売応札量の約98.9%**となった。
- 第3回オークションにおける制度的供出量は、固定価格取引と事後調整付取引で半量ずつ振り分けて供出することとなっていることなどもあり、**2024年度第2回オークションと比較した売応札量は約52.8%**となった。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

2024年度第3回オークションの買応札量（1年商品・固定価格取引）

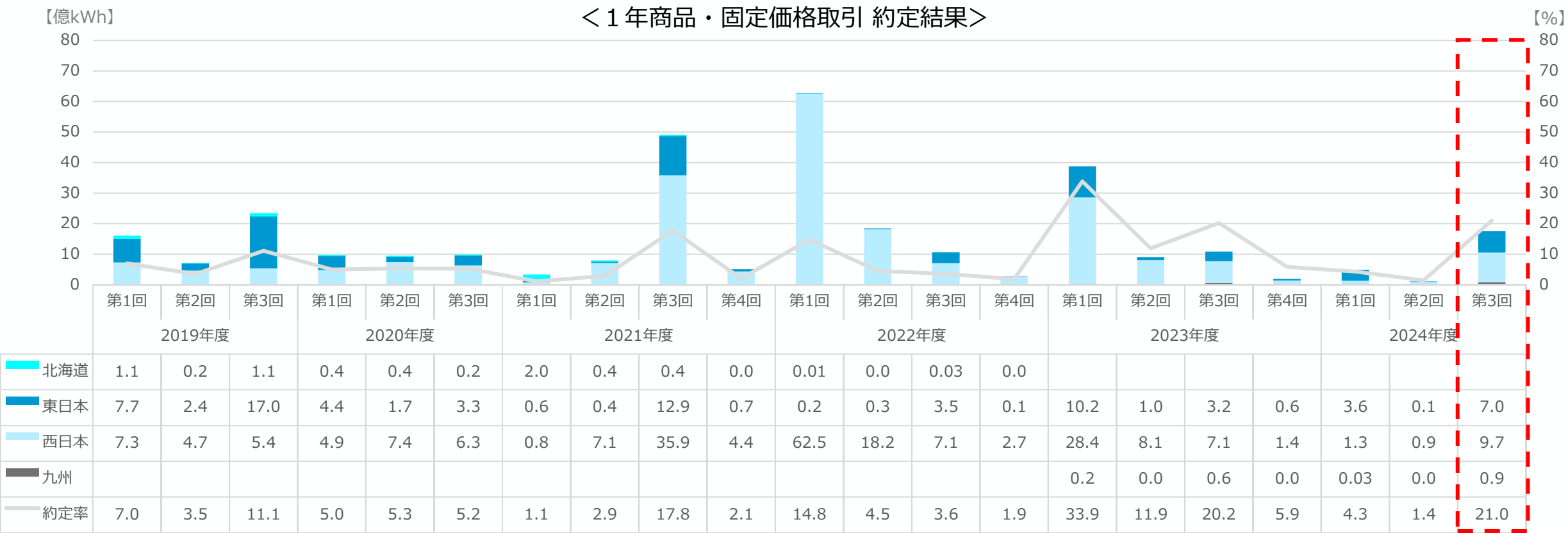
- 買応札量は約83.3億kWhとなり、2023年度第3回オークションの買応札量の約154.9%となった。
- 近年はオークション回数を重ねるごとに買応札量が減少していく傾向にあったが、約定量が低い水準で推移してきた2024年度においては第2回オークションと比較した第3回の買応札量は約112.7%と上昇に転じた。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

2024年度第3回オークションの約定結果（1年商品・固定価格取引）

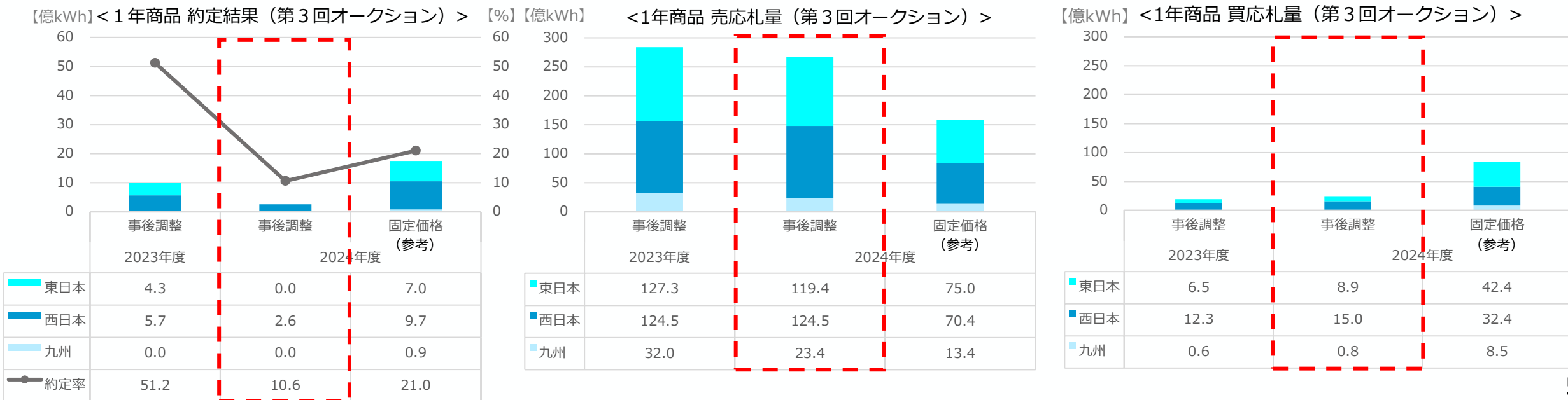
- 約定量は約17.5億kWhとなり、**2023年度第3回オークションの約定量の約161.1%と大幅に増加**した。
- また、約定率（約定量/買応札量）について、2024年度は2023年度に比べて低い水準が続いていたが、**2023年度第3回オークションと同水準まで上昇**しており、買手・売手の応札価格の目線が合ってきた様子がうかがえる。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

2024年度第3回オークションの結果（1年商品・事後調整付取引）

- 約定量は約2.6億kWhとなり、2023年度第3回オークションの約26.5%と大幅に減少した。
- 売応札量は約267.3億kWh となった。1年商品・固定価格取引で未約定となった売札が再投入されることなどもあり、2024年度第3回オークションにおける1年商品・固定価格取引の売応札量の約168.4%となった。2023年度第3回オークションと比較した売応札量は約94.2%と大きな変化はなかった。
- 買応札量は約24.7億kWhとなり、2024年度第3回オークションにおける1年商品・固定価格取引の買応札量の約29.6%となった。2023年度第3回オークションと比較した買応札量は約127.3%と増加した。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

(参考) 1年商品・事後調整付取引の制度的供出量について

第78回制度検討作業部会
(2023年4月26日) 資料 6 より赤枠追加

論点 1 - 2 : 第 3 回オークションにおける制度的供出量の考え方

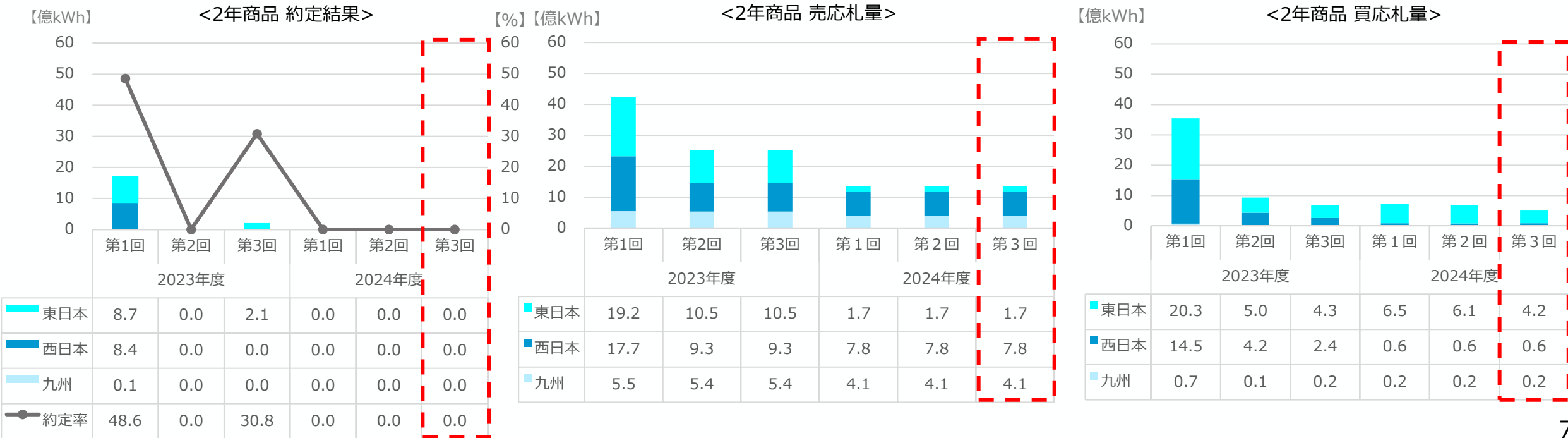
- 第 3 回オークションにおいて、固定価格取引と同時に事後調整付取引も行う場合、制度的供出量をどのように振り分けるべきか、検討する必要がある。
- 供出量の振り分けについては、制度的供出者の任意とすることも考えられるが、売札がどちらかの取引に偏り、市場が機能しなくなる可能性を踏まえ、まずは、**制度的供出量の半量づつ、固定価格取引と事後調整付取引へ供出することとしてはどうか。**
- また、3 回目に事後調整付取引商品を取り扱うことで、約定率が高まり、固定価格を見直す動機が強まる可能性を踏まえると、3 回目の固定価格取引において未約定だった売札は、同時に開催する事後調整付取引の売札として全量再投入のうえ、約定処理を行うことも考えられるのではないか。

<1年商品のラインナップ及び制度的供出量>

	1 回目	2 回目	3 回目
1 年商品	固定価格取引	固定価格取引	固定価格取引 事後調整付取引
供出量※	100%-長期商品割振り分	100%-長期商品割振り分	50% 50% + α  固定価格取引 未約定分を投入

2024年度第3回オークションの結果（2年商品・事後調整付取引）

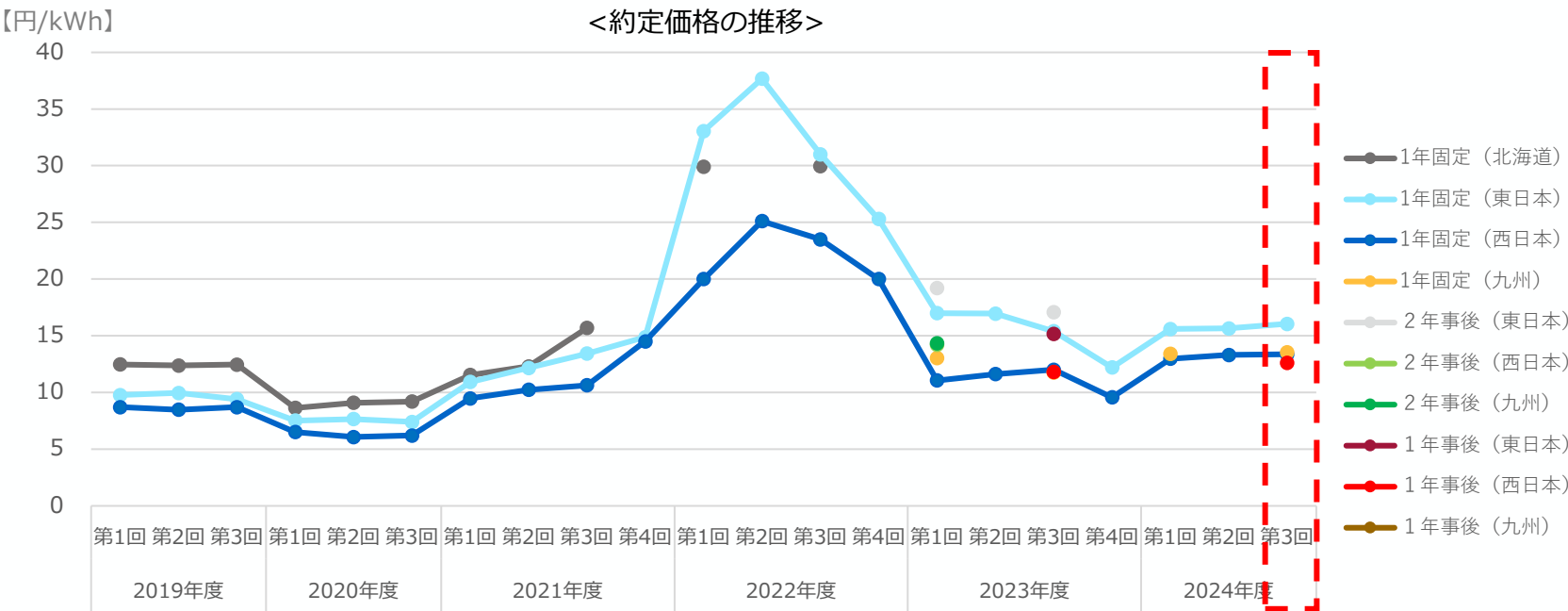
- 2024年度第1回・第2回オークションに引き続き全エリアにおいて2年商品の約定はなかった。
- 売応札量は約13.5億kWhとなり、2023年度第3回オークションの売応札量の約53.8%となった。また、買応札量は約5.0億kWhとなり、2023年度第3回オークションの買応札量の約73.4%となった。
- 2024年度第2回オークションにおいて2年商品の約定がなかったことなどもあり、第2回オークションと比較した売応札量に大きな変化はなかったが、買応札量は約72.9%と減少した。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

2024年度第3回オークションの約定結果（約定価格）

- 1年商品・固定価格取引の約定価格は、東日本エリア16.05円/kWh、西日本エリア13.36円/kWh、九州エリア13.53円/kWhとなり、2024年度第1回・第2回オークションと比較して高くなった。
- 1年商品・事後調整付取引の約定価格は、西日本エリア12.61円/kWhとなり、前年度に引き続き1年商品・固定価格取引の約定価格よりも低くなった。



（出所）日本卸電力取引所（JEPX）の公開情報を基に事務局にて作成

※1 スポット市場価格単純平均にて算出（2023年11月28日～2024年11月27日）
※2 スポット市場価格単純平均にて算出（2024年5月28日～2024年11月27日）
※3 1年間分の先物市場価格帳入値段単純平均にて算出（2024年11月27日取引 2025年4月限～2026年3月限）

<1年商品の約定価格（第3回）>【円/kWh】

商品エリア	1年商品 固定価格	1年商品 事後調整付	固定価格 との差額
東日本	16.05	—	—
西日本	13.36	12.61	0.75
九州	13.53	—	—

<参考価格> 【円/kWh】

商品エリア	(参考)基準エリアの直近月 までの平均エリアプライス		(参考) 先物価格※3
	1年分※1	6か月分※2	
東日本	12.95	14.61	16.09
西日本	10.94	12.38	13.73
九州	10.41	11.58	

(参考) 2024年度第3回オークションにおける事後調整係数

- 事後調整付取引においては、買手のリスクを緩和する観点から、入札前に調整係数※1の公表をしている。
- 2024年度第3回オークションにおいては1年商品、2年商品ともに事後調整係数が設定された。事前公表値（加重平均）は、第1回・第2回オークションに引き続き、九州エリアが他エリアと比較して低い結果となった。

<事後調整係数（1年商品）> 【円/kWh】

2024年度 第3回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本	0.37	0.30	0.35	—
西日本	0.37	0.05	0.24	0.05
九州※2	—	—	0.18	—

<事後調整係数（2年商品）> 【円/kWh】

2024年度 第1回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本※2	—	—	0.36	—
西日本※2	—	—	0.36	—
九州※2	—	—	0.19	—

■ 供出上限価格と調整単価の算定に関する簡易イメージ（参考）

基準石炭価格(①)	50,000円/ton	1,000円/ton 増加(⑤)	+1,000円/ton	1,000円/ton 下落(⑥)	▲1,000円/ton
想定消費数量(②)	10,000千ton	想定消費数量(②)	10,000千ton	想定消費数量(②)	10,000千ton
石炭燃料費(①×②)	500,000百万円	石炭燃料費増加(⑤×②)	+10,000百万円	石炭燃料費減少(⑥×②)	▲10,000百万円
修繕費	40,000百万円				
減価償却費	50,000百万円				
その他固定費	210,000百万円				
容量確保契約金額	▲100,000百万円				
合計(③)	700,000百万円				
BL想定発電量(④)	50,000百万kWh	BL想定発電量(④)	50,000百万kWh	BL想定発電量(④)	50,000百万kWh
供出上限価格(③/④)	14.00円/kWh		+0.20円/kWh		▲0.20円/kWh
調整単価 (平均石炭価格が1,000円/ton変動した場合の円/kWh当たりの変動額)	0.20円/kWh				

2024年度 第2回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本※2	—	—	0.36	—
西日本※2	—	—	0.33	—
九州※2	—	—	0.19	—

2024年度 第3回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本※2	—	—	0.36	—
西日本※2	—	—	0.33	—
九州※2	—	—	0.19	—

（出所）第82回制度設計専門会合（2023年2月20日）資料6より抜粋

※1 供出上限価格の算定の際に用いる諸元（燃料の想定消費数量、想定発電量等）に基づき算定される、石炭価格が1,000 円/トン変動した場合の変動額（円/kWh）

※2 売手側の制度的供出者が2 者以下のため、加重平均値のみ事前公表される

今後のスケジュール等について

- 2024年度オークションは、1月に第4回が実施される予定。
- 第4回オークションは1年商品・固定価格取引のみの実施となり、大規模発電事業者からの供出は任意となる。

<今後の取引スケジュール>

	受渡期間	取引価格	入札期間	取引実施日
第4回	1年	固定価格取引	2025年1月21~31日	1月31日

<各オークションにおいて取り扱う商品>

	第1回（8月）	第2回（10月）	第3回（11月）	第4回（1月）
1年商品 受渡し期間1年 (制度的供出量割合※ ¹)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (42.5%) 事後調整付取引 (42.5%+ α ※ ³)	固定価格取引 (任意供出)
長期商品 受渡し期間2年 (制度的供出量割合※ ²)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	—

※1 同年度オークションの約定量及び適格相対契約控除量等を除く

※2 前年度及び同年度オークションの長期商品約定量及び適格相対契約控除量等を除く

※3 第3回オークションの固定価格取引において約定しなかった売札量 α